

読書の秋

宮沢賢治の作品を読みもう！

秋になるとテレビや雑誌でよく目にのする“〇〇の秋”というフレーズですが、これは過ごしやすい気候の秋が、物事に挑戦しやすい季節であることが由来であると言われています。芸術の秋、スポーツの秋、食欲の秋…とあります。今回は“読書の秋”をテーマに、岩手県出身の作家、宮沢賢治を取り上げます。

さて、昨年生誕から120周年を迎えた岩手県を代表する偉人の一人である宮沢賢治ですが、出身地として知られる花巻市と共に、実はここ盛岡市とも深い関わりがあります。賢治は学生時代を盛岡市で過ごし、彼の作品の一つ『ポラーノの広場』では盛岡市が“うつくしい森で飾られた「モリ一オ市」”として登場します。読書にぴったりなこの季節に、宮沢賢治の作品を読んでみてはいかがですか？



宮沢賢治氏

■ 賢治の生涯



盛岡中学校5年生当時の賢治氏

宮沢賢治の世界は、時空を超えて、「科学」「芸術」「宇宙」「宗教」「農業」など多彩で多面的。しかし、生前その作品や生き方はほとんど誰にも知られることはありませんでした。37歳という若さで世を去った賢治ですが、およそ短歌900首、詩800篇、童話100篇の作品を残しました。そのうち生前に発表された作品はごくわずかで、作品の執筆で原稿料を受け取ったのは、童話『雪渡り』のただ一度のみでした。没後、残されたおよそ3,400枚の原稿の中から『銀河鉄道の夜』や『風の又三郎』などの作品が世に出され、同時に「みんなの本当の幸せ」を願っての実践生活も知られるところとなり、高い評価を受けるようになりました。

宮沢賢治 生涯年表

1896年(明治29年)	がつ にち げんざい はなまき う 8月27日 現在の花巻市に生まれる
1903年(明治36年)	がつ はなまき かわぐちじんじゅうこうとうしょうがっこう にゅうがく 4月 花巻川口尋常高等小学校へ入学
1909年(明治42年)	がつ いわて けんりつ もりおかちゅうがっこう げん もりおかだいちこうとうがっこう にゅうがく 4月 岩手県立盛岡中学校(現・盛岡高等学校)へ入学
1915年(大正4年)	がつ もりおかこうとうのうりん がっこう げん いわて だいがくのうがくぶ のうがくかだい にぶ しゅせき 入学 にゅうがく みやざわけんじ しうがいねんびょう 4月 盛岡高等農林学校(現・岩手大学農学部)農学科第二部へ首席で
1918年(大正7年)	がつ もりおかこうとうのうりん がっこう げん いわて だいがくのうがくぶ のうがくかだい にぶ しゅせき 3月 盛岡高等農林学校卒業後、同学校の研究生となる
1920年(大正9年)	がつ もりおかこうとうのうりん がっこう げん はなまきのうぎょうこうとうがっこう きょうゆ 5月 盛岡高等農林学校研究生修了
1921年(大正10年)	がつ ひえぬきぐんりつひえぬきのうがっこう げん はなまきのうぎょうこうとうがっこう きょうゆ 12月 稗貫郡立稗貫農学校(現・花巻農業高等学校)の教諭となる ざっし あいこくふじん がつこう よくとし がつこう ゆきわた けいさい 雑誌「愛國婦人」12月号・翌年1月号に『雪渡り』を掲載
1923年(大正12年)	がつ のうがっこう ぐんりつ いわて けん いかん けんりつはなまきのうがっこう 4月 農学校が群立から岩手県に移管され、県立花巻農学校となる
1924年(大正13年)	がつ しんじょう はる しゅら かんこう 4月 心象スケッチ『春と修羅』刊行
	がつ どうわしゅう ちゅうもん おお りょうりてん かんこう 12月 童話集『注文の多い料理店』刊行
1926年(大正15年)	がつ はなまきのうがっこう いがんたいしょく 3月 花巻農学校を依頼退職
ねん しょうわ ねん	がつ こうねつ たお こ びょうしょう ふ

1928年(昭和3年)	8月 高熱で倒れ、その後病床に臥す
1931年(昭和6年)	1月 体調回復により東北碎石工場で働く
	9月 再び病に倒れ、療養
1933年(昭和8年)	9月21日午後1時半 急性肺炎により永眠 (没時年齢 37歳)

賢治の代表作

銀河鉄道の夜

長い間家を不在にしている父親のせいで同級生にからかわれている孤独な少年ジョバンニは、ある夜一人で星空を眺めていました。するとどこからともなく「銀河ステーション」というアナウンスが流れてきて、気が付くと彼は親友カムパネルラと共に不思議な銀河鉄道に乗って宇宙を旅しているのでした。旅の途中での人々との出会い、そして銀河鉄道での旅そのものは一体ジョバンニに何を伝えようとしているのでしょうか？そして、旅が終わったあとにジョバンニが知ることとなる悲しい現実とは？



注文の多い料理店

ある日、二人の若い紳士が二頭の白熊のような犬と案内役の鉄砲打ちと共に山奥を歩いていました。しかしそれは結構な山奥であったため、鉄砲打ちとはばれ、二頭の犬は泡を吹いて死んでしまいました。その後空腹でどうしようもない二人の前に「西洋料理店山猫軒」という料理店が現れます。しかし、その料理店はどうも怪しいのです。しかしお腹がすいて早く食べ物にありつきたい二人は何の疑いもなくその“注文の多い料理店”の奥へ奥へと進んでいきます…。



よだかの星

よだかはとてもみにくい鳥で、他の鳥たちはよだかの顔を見ただけで嫌になってしまふほどでした。そして特に鷹は、同じく“たか”と名前の付くよだかのことをひどく嫌っていて、ある日ついに名前を変えないとよだかをつかみ殺すと言いました。よだかは太陽や星たちに自分を彼らのところへ連れて行ってもらえるよう頼みました。誰も相手にしてはくれませんでした。命に絶望したよだかは、故郷を捨てて空高くまで飛んでいくのでした。



風の又三郎

作中の村には“風の又三郎”と呼ばれる風の神様の子の伝説がありました。ある日村の学校にやってきた不思議な転校生・三郎のことを、同級生たちは風の又三郎なのではないかと怪しみます。言動や行動がどうも不思議な三郎でしたが、次第に同級生たちとも仲良くなっています。三郎は、本当に風の又三郎なのか、それともただの不思議な転校生なのでしょうか？

紹介した他にも多くの作品を残している賢治ですが、その中には外国語に翻訳されている作品も多くあります。盛岡市内の図書館で借りられる英語・中国語版の作品をいくつかご紹介します。

《英語》

都南図書館(盛岡市永井24-90-2)
・宮沢賢治掌編集1 収録作品:雪渡り、双子の星 他
・宮沢賢治掌編集2 収録作品:セロ弾きのゴーシュ、おきなぐさ 他

市立図書館(盛岡市高松一丁目9-45), 渋民図書館(盛岡市渋民字鶴塚55), 都南図書館
・ベスト・オブ宮沢賢治短編集 収録作品:注文の多い料理店、セロ弾きのゴーシュ 他

《中国語》

いわてけんりつとしょかん もりおかしもりおかえきにしどおりいっしょめ
岩手県立図書館(盛岡市盛岡駅西通一丁目7-1)

- ・岩手県立図書館(盛岡市盛岡駅西通一丁目7-1)
- ・宮沢賢治童話文集1 収録作品:風の又三郎, ポーラーの広場 他
- ・宮沢賢治童話文集2 収録作品:注文の多い料理店, どんぐりと山猫 他
- ・宮沢賢治童話文集3 収録作品:銀河鉄道の夜, よだかの星 他

気になる作品はありましたか？宮沢賢治の独特な世界観は多くの人々を魅了し続け、これまで漫画や映画、ミュージカルなどにおいて数々の派生作品が生まれています。岩手県を代表する作家である賢治の作品を読みながら、読書の秋を満喫してみてはいかがでしょうか？

資料提供 林風舎